

平成29年度

第2弾

邑南町議会意見交換会

報告書

(平成30年4月25日)

平成29年度第2弾 邑南町議会意見交換会 まとめ

開催日時	会 場	出席者数
1月21日(日)	午後 1:30～ 3:00 口羽公民館	11人
1月28日(日)	午前10:00～11:30 田所公民館	22人
2月10日(土)	午後 1:30～ 3:00 矢上交流センター	13人

各公民館では、グループにわかれてお話をさせていただきました。
グループでの話し合いのあとの発表を掲載し、報告とします。

意見交換会おわりのあいさつ（清水副議長）

いろいろ予定があったかと思いますが、まげて出席いただきまして誠にありがとうございました。今日は全員の方にご意見を伺いました。これは今度整理しまして町政に反映したいと思います。大変ありがとうございました。それと同時に三江線の問題については各グループでいろいろ意見を伺ってございますので、整理しまして3月議会で反映したいと思っております。どうもありがとうございました。

今後とも邑南町議会にご意見、ご指導いただきますよう、よろしくお願いいたします。

目 次

- 口羽公民館まとめ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2～ 3 ページ
- 田所公民館まとめ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4～ 6 ページ
- 矢上交流センターまとめ・・・・・・・・・・・・・・・・ 7～10 ページ

口羽公民館まとめ

(第1グループ)

- 三江線の廃線後のことについて様々な意見がでました。全国的にみても廃線となったところは草ぼうぼうで廃墟と化しているの、そうならないようにきちっと対応していただきたいというようなご意見があったり。あと、三江線応援団の方々が今、その廃線後の活用策を提案されているので、こちらにも議会として協力していただきたいというような意見がありました。
- 行財政改革についてもたくさん意見をいただきました。まず、職員数が本当に今のままで大丈夫なのか。邑南町はラスパイレス指数が高いし、職員数を同規模の自治体でみても非常に数が多くて、本当にみあったような職員体制になっているのか、議会としてもっと忠告していただきたい、という意見もいただきました。
- 国会議員は住民の代表であるけれども、地方議員は住民の代理人であるから、基本的なチェック機能という、行政へのチェック機能をもっと強化して、議員も勉強してほしい。そのような厳しい意見もいただきました。この12月定例会の一般質問が6人しか議員が質問しなかったということで。もう少し意識を持って臨んでいただきたい、というような厳しい意見もいただいております。
- 男女共同参画についてもご意見をいただきました。地区の団体やグループにもっと女性を。女性に活躍していただくために、町独自で条例を定めて、女性の委員さんをもっと増やしてはどうか、というような意見もありました。
- 疑問としまして、地域振興会と公民館の関係が、これが地区別戦略との整合性の問題があるのではないかと、というような意見もいただいております。
- 広報広聴の面に関して、議会報はわかりやすく町の施策をたくさん載せておられるということではちょっと褒めていただいて、くすぐったく思いましたが。反面、邑南町が発行している町の広報が、町の施策であるとか、予算の流れや執行状況がよくみえない、わかりにくいというようなご意見もいただいておりますので、またこれは持ちかえて執行部のほうに伝えたいと思います。以上です。

(第2グループ)

- 三江線については、活用のことがいろいろ話されているけれども、とにかく地域の交通を充実してもらいたい、それを願うと。そして、三江線の活用について、地元以外の人と一緒にやられるわけですが、地元の人元気ということが大事なんで、地元に住んでいる人の気持ちも推し量りながら進めていただきたい、というような話がありました。
- 雪害のことについては、前回2年前の大雪で倒木等があったわけですが、今回またそれを上回るような倒木の災害があったわけで。まあ、2回も最近そういうことを経験しているので、事前にそういうことが起こらないような対策をすることはできないか。まあ、簡単に言いますと、道路沿いの木を地権者の了解を得て、早めから伐採をして、雪害にあわないようにするということができないか、とか。今回、長らく停電になって困った方がおられるということで、蓄電池の活用なんかを考えるようにしてもらわなければならないだろうか、というようなお話がありました。
- 温水プールが長らく改修をされていないわけですが、それを早めに改修したいということで。それにあわせて、今回、倒木したような木をバイオマス発電に利用して、バイオマス発電の事業で、

人の雇用を生むことを軸に、そういう温水プールの整備するというようなことで、セットで願うわけにはいかないだろうか、と。そういうふうな話をさせていただきました。

(第3グループ)

- 3番のグループです。ここでは、最初に道の駅の整備構想についてどういうふうなことになったらいいのか、というような話がございました。あのお、隣にある合銀であるとか、そのまた隣のショッピングセンターであるとか、そのへんを含めてテナントで入ってもらえるような格好で、多機能にすれば、機能を充実していけば、小さな拠点になり得るんじゃないだろうか、というふうなご意見でした。
- 三江線の問題がでまして、交通の体系と跡地利用のことについて、町としてどういうふうな考え方なのだろうか、というふうな質問がございましたが。交通の体系については、今、代替交通が決まりましたのでそのお話をしました。跡地利用については、現在までの町の説明をお話しておりますが、それに対して積極的に利用したほうがいいという意見と、逆に、反対意見もあるんだよというようなお話がございました。地域の総意としての取組を期待をしたいということが、議員のほうから話がございました。
- 自治会長の負担が大きすぎると。何でもかんでも自治会長、自治会長にということで、自治会長のなり手がなかなかおらんで。任期を2年だったのを1年に縮めたというような話がございました。あのお、自治会長さんだけではなくて、行政協力員さんもこれは集落単位ですので、小さな集落では、これもなかなか負担が大きいというようなご意見でした。で、我々のグループには、出羽の出身の議員がおられまして、出羽自治会のお話をさせていただきましたが、出羽はうまくいっとるのに、何でよそじゃできんのんだらうかのお、というような話もございました。地域性かねえ、というようなことで、結論はでておりません。
- 食の学校のことについて議員のほうから質問がありました。これは石見、瑞穂では食の学校の卒業生の起業があるんだが、羽須美でないのはどがあずならんのだろうか、と。石見、瑞穂のほうには現在、すでに飲食店があるところに新たにそういうお店をつくってもらっても、競合するようなことになるので。羽須美にはそういうところがないので、羽須美でやられたらどうかいなあというふうな話が、提案がありましたが。あのお、地区の方から、そいじゃあ、こがあすりゃあええ、というふうなことはございませんでしたが。こういう料理であるとか、ああいう料理であるとか、川魚の料理を研究して、その可能性を考えたらどうだろうか、というふうなご意見でございました。
- 公民館の話で、行財政改革の意味からいうと、職員を置いとくのはどうなのだろうかというふうなお話でしたが。現在の町の地区別戦略でありますとか、町の行政の戦略というふうなものが、公民館を中心ということになっておるといふ状況をお話をしました。行政改革ということであろうと、そういう方向でありましょうが、行政サービスの充実ということでは、逆にもっと公民館の機能を充実するというふうなことも必要なのかなあ、というふうな話でした。以上のようなことです。

田所公民館まとめ

(第1グループ)

- 高齢者が増えてきて集落の維持、管理、いろんな行事をするのになかなか大変になっておると。農業についてもそうです、と。65歳以下の人がない集落も当地にもあるというようなところで、そういった集落の消滅をなんとか延ばす、延ばすというか、改善するという方法はないだろうか、というようなご意見がございました。
- 降雪による倒木、除雪の弊害、これに対して非常に苦慮していると。だから、町道あたりでも事前に倒木になりそうなところを切るということはできないか、というようなご意見もございました。まあ、あのお、またいろんな場でこれも議論を進める必要があるかと思っております。
- 当地へUターンして帰って、やはり都会に住んでいたときと違った風土に慣れないというようなこともある、というようなご意見もございました。
- フィンランドの条例、議会からありましたが、これに対して、フィンランドとの友好を図るにはやはり町議が率先してやるべきではないか、というようなご意見。
- 三江線問題についても、この経営のあり方、あるいは資産の取得のあり方、これに対する町の対応等々についてのご意見がございました。
- 道の駅、前にあります瑞穂の、現在議長のほうからのお話しもございましたが、調査段階で、2月中にこの結論がでるというようなことについて。これが、これから先どうなるのかというようなご意見。
- A級グルメであるならそういった雲井の里なり、この道の駅瑞穂なりで、この食材が邑南町がすすめるA級グルメの食材だというようなこともすべきではないだろうか。

(第2グループ)

- 除雪の話が出ました。まず、広島側と町内の技術の差が激しいんじゃないか。それから、除雪の出動する基準はどうなっているのか。時間をもう少し早くならないか、というようなご意見もありました。また、危険家屋に積もった雪のことに関して、どのように対応したらいいのか、ということであるとか。あと、独居や障がい者宅への除雪を、現在ボランティアで近所で助け合っているけれども、この燃料費程度でも、せめて何か援助があると嬉しいというようなご意見もありました。
- 農業問題に関しては戸別の所得補償がなくなったことで、今後農業を守っていくためにどうしたらいいか。それから、特別な価値のある米でないと売れない時代なので、このへんを議会はどう考えているかという話もありました。
- 三江線の資産活用について。負の遺産はいらない。それでなくても他の公共施設の維持管理が、今後大変になるのではないか、という心配の声もありました。
- 議会に対しても厳しい声をいただきました。生活が良くなるためにはやはり政治がよくないとだめで、議会が活性化することが大事ではないか。もっと一般質問をしっかりとみなさんにはやってほしい、というようなご意見もいただいております。
- 学校の小規模校の統廃合の問題。個々でいろいろな意見をみなさんもっておられるので。まあ、議会としてはこうするっていうふうな意見はないですけど、まあ、個々で意見を出しあいました。
- 町内施設に対しての説明や紹介が少ないのではないかと、というご意見もいただいております。

(第3グループ)

- 三江線の問題が出まして、この跡地、そして資産活用、まあ、町の姿勢、そして議会のほうの議員としての意見ということで話をさせていただきました。どちらも負の遺産とならないような解決策を、今、模索をしているところであるということで、町民の方に迷惑をかからないようなかたちで、おさめようというふうな話をさせていただきましたところです。
- 矢上高校が70周年を迎えるということで。それにつきましてのやはりイベント、それから、今後の生徒募集、そしてまた寄宿舎の問題等についてもここでお話しをさせていただきました。
- 行財政改革。議会のほうでも一般質問もあったわけですが。その反映をどんどんやっぱり議会としてチェックをしていただいて。まあ、3月議会では、予算案も提示されてくるわけですので、その点を注視して、それがいかされているかどうかについても、今後、目を光らせていただきたい、というご意見をいただきました。
- フィンランドの要綱についても、やはり町内の住民票あるなし、学校がどこだ、とかいうようなことではなくて、もっと広い視野でやっていただくような、事業を育ててほしいということ。
- 後木屋のほうのああいった銀山の関係のほうの、お米のほうも単発、単年度とかではなく、継続的にいろんな意味で支援なり、そういった調査なりを続けてやっていただきたい、ということ。
- ハーブ米が賞をいただいたり、それから、田園風景が大変よく、ここはよそから視察に来られる議会さんも感心しておられるところなんです。そういった田園風景を大切にするとともにハーブ米の推奨をもっともっと振興していただきたい、という強い意見をいただきました。

(第4グループ)

- 公民館活動等が各地であるわけですが、そこでのステージ発表がだんだんと少なくなっているということから、何人かの議員さんでもいいので、発表の手伝いをしてもらうことはできないでしょうか、というような意見をいわれました。
- 雪が多いんだけど、除雪予算はどのようになっているのか、というご質問でした。それに対して日野原議員さんがお答えになりましたけれども、1回に約800万円の除雪費がかかるということで、予算を組んだる以上に除雪をしなければならぬ場合は、補正予算を組むんですが、国から次年度以降、特別交付税というかたちである程度のお金が交付されるというしくみになっている、という説明がされました。
- 老後がだんだん心配になっているんだけど、自分も含めて、老後は高齢者の方が、不便なところに点在をしていけば、いろんな移動する場合にも、いろんな経費が多くかかるということから、高齢者の方は病院に行くのも、買い物をするのも、みやすいようなところに移住をしていただいて、生活をみんなで楽しくすればいいのではないかと。それで、農業とか林業をする難儀なところは若い者にそこへ行ってもらって、頑張ってもらいたい。そういう方向性をつけることはできないのだろうかという意見がいただきました。それに付け加えて、高齢者が住む場合には、高齢者用の木造の住みやすい住宅を整備してあげれば喜ばれるのではないかなあということをおっしゃいました。
- 広島でフェアがあったときに、広島の若者と交流をしたんだけど、田舎へ来て住んじゃんさいやいうていうたんだけど、田舎は雪が降るし、いろんな生活に難しい面があるんで移住したくないということを聞いた。ということから、田舎の生活に魅力があるんだということを言えるような環境に変えていって、若者が来てくれるような、町に魅力のあるものにしたらどうだろう

か、というようなご意見をいただきました。

- 道路、特に町道ですけど、道路はどの程度にいたんだらなおしんさるんかなと。除雪作業なんかをしとるときに非常に危険な場所があったりして、こわいと感じるときがあると。町道の場合は、県がやっとなるようなパトロール部署を設けて、危険な町道を早めになおすような体制にはできないのか、というご意見がありました。
- 実際に除雪作業をしとって、マンホールの蓋なんかに重機がカチンとあたって、非常にこわい思いをすることが多いので、マンホールを低く設置するようにしてもらうわけにはいかないだろうかというご意見がありました。
- 自治会長への、町からの依頼というか仕事が大変に多くて、なんとかそれを少なくしたり、自治会長以外の職務をしている人に振り分けたりして、少し仕事量を少なくするように考えてもらいたい、という意見がございました。
- 邑智郡の農業共済の合併を経験された方から、なかなか真の意味での合併効果が出ないんだろが、長い間10年ぐらいはかかるんだろが。邑南町も合併して10年を過ぎて、地域意識といいますか、そういうものがだんだん少なくなっているんですが、町のほうのというのは縦割り等で仕事が多い。多くなっているためか、なかなか本気で私たちの意見を聞いてくれないようにも思う、というようなご意見もありました。
- 議員のほうから三江線のあとの利用について、羽須美のことではあります但穂ではどのように思っておられますか、という問いに対して。話は聞いたんだが、よい計画をしておられるとは思うと。完全に反対をするということではないと。地域で、全体化をしてやられればいいんですが、今、羽須美で1割ぐらいの人が本気でやっとなられるというふう聞いておられて。この計画を進めていきんさりゃあ、8割ぐらいのあんまり今関心がない人が、関心をもって応援してくれる人が増えるのではないかと、というような意見をおっしゃいました。

矢上交流センターまとめ

(第1グループ)

- 石見地域の小学校でも児童が昔の半分になってきている。特に井原地域では町営住宅とかアパート関係が少なく若いが帰ってきにくい状況にある。他の地域の町営住宅等に住む方が多くて、結局そこに住み続けてしまって、なかなか井原のこの地元に帰ってくる人が少ない。なんとかならないだろうか、というようなご意見をいただきました。
- 公民館等、町内いろんな施設がありますが、予算がないということで、町はすぐ予算がないを理由になかなか修繕をしてもらえないんだけど、これはどうかなあというような声もありました。
- 他には町外からお嫁に来ている方が多いんですけど。こういった若い方々にとって、昔ながらの自治会や講中など、ちょっとよそから来た人にとって、現在のやり方が負担になっている面もある。こういった声もあるよというふうなことを伺いました。見直すことも必要なのではないのでしょうか、ということでした。
- 高齢になったときの車の運転が、自分もできなくなったときに本当に大丈夫なのだろうかという不安が大きいということです。デマンド交通を望む声がみなさんもっておられます。また、集落によっては子どもがぐんと増えた集落があるようです。特に郡山とか日南原とか新しい住宅がどんどん建って、若い方も増え、子どもの声も多く聞こえるようになってきたということです。古くからおられる人と、新しい人とが意見を出しあって進めて、いろんな行事等を進めておられるようです。しかしながら、新しい住宅に入ってこられても自治会などは自分の出身地域に参加して、居住している住宅の地域に参加しない方が多くて、そのへんの折り合いが難しいというような悩みもあるみたいです。
- 児童クラブの運営についていろいろとご意見をお聞きしました。待遇面等、関わっておられる指導員さんたちは大変厳しい状況にあられるし、きちんとした雇用形態で専任の職となるような措置をやはり行政としても一緒に考えてほしいということでした。また、児童クラブの役割や重要性をもっと理解して力を入れてくださいというご意見です。
- 先ほどの講中の話と関連するんですけど、葬祭センターというのがあのお、あるといいのではないのでしょうか、ということがありました。あのお、講中で何か葬式を取り仕切るとかであれば、なかなか若い人は仕事を休みにくい状況というのがあるので、町にも葬祭センターというのがあったらいいなというご意見もありました。
- こちらのほうからお伺いしたんですが、議員定数についてどうでしょうかというふうにお聞きしたところ、各地域の声を吸い上げやすいので、このままでよいのではないかというみなさんの意見が一致しております。

(第2グループ)

- 農業の後継者不足がどこもうたわれているわけなんです。農業の将来性をももちろん考えなければいけない、農地の利活用等も考えなければいけないんですが。その反面、太陽光といったエネルギー、再生エネルギーのことも目をつけていかないといけない。それで、今後はエネルギーも地産地消の時代がくるのではないか。そういった面では、電力会社、そしてまた蓄電池の技術をもっている企業とも連携が必要になってくるのではないか。そんな情報を、もちろん邑南町がまた主軸になればそういったいろんな意味での農地の利活用の規制緩和とか、そういった情報等も提供していただきたいという、両方の農業を守ろうという面とそういった再生エネルギーをと

というような面とでご意見をいただきました。

- 日桜ロードが冬季期間通行止めになっておりますが、これも通勤等で使われている方にとりましては冬場が大変でもあるし、もっと緩和をしていただく。そしてまた、除雪等をして通行できるように改善をしていただきたいということで、議会のほうからもお願いを今まで以上にさせていただきたいということ。
- 一般質問等の映像を見ていると、何番議員さんの質問にもありましたようにという、議員の何番、何番というので呼び方をされていますが、これを実名で誰が言ったのか、とかいうふうに実名で言ってもらえないだろうか、ということもありました。これは、議員同士だけでなく執行部さんも何番議員といわれることもあるんですが、この点は規則とかいうことではないので改善すべき点はしていただけるのではないだろうか、ということでお話しをさせていただきました。
- 将来の役場の本所の位置等につきましても、いろいろ町内全体で、新しい事業開発等も行われているのでそういった変動があることはないか、というようなご意見もいただいたわけですが。財政等いろんな条件と加味したところでは、そういったことはないのではないかとということ。
- 矢上高校が今この前、競争率も発表になったんですが。競争率も定数程度あるし、さらなる充実と、そういった定数を再考していただくように要望していただけないか。そして、地元の生徒さんでもできるだけ多く入っていただけるようにできないだろうかということ。
- これはこちらからの質問、三江線の利活用について。跡地も含めて危険性というものを最大に配慮しながら、町や町民にメリットのある方策でのぞんでいただきたいということ。生活交通、道路インフラ等にも目を向けていかなければならないのではないかと、ということでした。
- 要望として、今、竹島の関係も島根県民としてはいろいろ無視はできないような状況でもありますので、これを町内のある程度の意識を高めていただくためにも、展示物、そしてまた紹介等もしていただけないだろうか、というご意見をいただきました。

(第3グループ)

- 食の学校、日和にあるわけですが。非常にこの利用しにくい状況いいますか。利用したいんだけど料金がかさむということで。こちらからお願いした場合には、いろいろ専門的な方がこられるので、料金面で非常にハードルが高いといえますか、敷居が高い状況になつとるので、できるだけ改善して、特に邑南町、地元の方が使いやすいような状況がつくっていただきたいというご意見をいただきました。まあ、邑南町は非常に国的にも、県下でもいろいろマスコミ等で取り上げられて、いろんな施策をうつとるわけですが。やはり、地元の方がそういうものをできるだけ多く使ってもらえるような状況を、環境を整えてほしいというご意見がございました。
- 耕すシェフ。A J I K U R Aを中心に研修生、あるいは協力隊の方が活躍。全国から来て活躍されとるわけですが。なかなか、そこでいろんなことを習得されて、それ以降のどれだけの方が残られて、どこで何をされとるといことが、非常に見えない。せっかくいろんな助成を使って、町も力を入れとるので、しっかりと耕すシェフにしても協力隊にしても、どういう方がどこで活躍されとるかということもしっかりと町民の方に知ってもらえるような機会が欲しい。いわゆる研修生のあり方いうものを、私どもは問われとるような気がしました。
- 議長さんからも話がありましたが、町内の開業医であります天川先生が、みなさんご承知だと思いますが、3月ですか、やめられるということで。非常に町民の方がこまっとるとい声を聴くということで、どうなるんだという心配の声がありました。これについては、議会もしっかりと開業医、地元の開業医さんですが、校医さんもやつとられますし、診療所のほうも受け持つておられますし、非常にまあ、重要な問題ということで。しっかり、議会としてもこれについては考

えていかなければならないというふうに答えました。

- 元気館。健康維持のために元気館があるわけですが。やはり町内、石見地区でも、石見地域でも羽須美地域でもしっかりと利用できるようなシステム。トレーニングの指導員さんがいるとかいう問題もあるわけですが、やはり健康維持のためには、町全体で利便性を図って、どこでも来やすく、そういう健康維持の源である元気館に類したような、規模は小さくてもそういうものを各地域にあったらいいんじゃないかなろうかというご意見をいただきました。
- 三江線の問題について議会のほうからどう思われますか、ということでお尋ねしました。これについては、地元で、羽須美地域でボランティア中心にですね、地域の方も一生懸命頑張っておられるので、それについては大いに応援していかなければならないし、素晴らしいことだということには認識しとるわけですが。やはり、安全面とかこれから先、解体費とかいろんな町が負担していかなければならないような問題が生じてくるということについて、懸念をもつとると。これについては、議会もしっかりとこれを念頭に、これからどう三江線のあるべき姿を、しっかりと議会でも議論してほしいというお話がありました。
- 議員定数についてお尋ねをこちらのほうからさせていただきました。これについては、1グループと同じようにまあ、今の定数でよかろう、いいですか。別に異論はないというご意見でございました。

(第4グループ)

- 矢上地区の児童クラブの人数が非常に増えて、多いということで。場所も非常に狭く建物も古くて、サービス上よくないというようなお話があつて。これに対する対応を早く検討すべきではないかというご意見をいただきました。で、この対応策として、例えば、空き家、あるいはお寺、昔の寺子屋のような感じでの活用も検討したらどうかというようなご意見も頂戴したところでございます。
- 子どもさんを保育所等々で、あるいは自宅でみなくてはならないということで、仕事に出られない方もあるというようなことで。日本一の子育て村といいながらそのへんの対応をもう少ししっかり考えなければいけないんじゃないかというようなご意見もいただきました。そしてまた、保育所、これ私もちょっと認識不足でしたが、待機児童がいらっしゃるということで、外部からこちらにIターン、Uターンして保育所に入ろうと思ったら入れなかったというようなお話を伺って。議員としてもちょっとこれは不徹底であったなと思っているところでございます。行政のほうも広報紙、あるいはホームページ等々でこれらも一切公表がされていないということで、これらの広報もですね、しっかりと今の現状をお知らせするというのも重要じゃないかというようなご意見をいただきました。早速これは担当課のほうと協議をするということでご回答しております。

※最後に補足説明があります。
- 倒木の関連につきまして。議長の冒頭のあいさつでもありましたが、多額の補正予算を組んだというような状況ですが。これを倒木になる前に、事前に森林組合、あるいは関係の業者さんと提携をして、調査をして、対処すべきじゃないか。そうすれば、これの災害の発生もある程度防げるんじゃないか、というようなご意見を頂戴いたしました。
- 公共施設、ここらも含めてですが。この管理計画、管理計画書というのがありますが、これが一向に進捗がみられていないということで。これの進捗を早める、あるいは状況を町民のみなさんと一緒に検討して進めるべきではないか、というご意見をいただきました。私も議員といたしましては、この台帳は整備しました。そして、29年度公会計に移行した段階で、固定資産台帳も、今、整備がされています。固定資産台帳では当然、取得価格から今度は減価

償却まで全部しますので、それらをもとにして新たな、また計画を進めていくようになるかどうかというようなお話しをしたところでございます。

- 三江線の活用。これは活用については、やはり慎重に。それと、町との、町がいわゆる手出しのないようにしっかりとした分離をした管理をすべきじゃないか、というようなご意見がいただきました。
- フィンランドの日ということ。昨年の末に条例を制定してほしいということがありましたが、これは反対が多くて条例になっておりません。やはりこのなかで、町民の意識を高めるためにはなんらかの対応をすべきじゃないか、ということのご意見を改めて頂戴したところでございます。
- 議員に対する活動のあり方について、あるいは指定管理の実態について。ここでは食の学校とそれから香夢里の改修について、非常に厳しいご意見も頂戴しておりますが。これが、あとのほうでございましたので、ちょっと詳細な発表は控えさせていただきます。
- その他には危機管理の問題についても、やはりこのような大雪の中でしっかりとした対応、例えば、消防の出初めにしてもやってやれないような状態ではないが中止をしたとか。そういった危機管理についての対応をもう少ししっかりとすべきではないかというようなご意見をいただいたと思います。

※邑南町における「待機児童」の状況について、町福祉課に確認したところ、邑南町に待機児童はありませんと回答がありました。しかしながら、年度途中における新規の保育所等入所申込みについては、保育士の配置基準により受入れが困難な場合があるとのこと。

※保育士の配置基準は、以下のとおりとなっています。

- 0歳児…………… 3人に1人以上の保育士の配置
- 1・2歳児……… 6人に1人以上の保育士の配置
- 3歳児…………… 20人に1人以上の保育士の配置
- 4歳児以上……… 30人に1人以上の保育士の配置

※厚生労働省の「保育所等利用待機児童数調査要領」によると、「待機児童は保育の必要性の認定がされ、保育所等の利用申込みがされているが利用していない者」であり、その取扱いは以下のとおりとなっています。

- 待機児童となるもの
 - ・保護者が求職活動中の場合
 - ・広域利用希望があるが利用できない場合
 - ・特別な支援が必要な子どもの受入れ体制が整っていないなど、やむを得ない理由がある場合
- 待機児童にならないもの
 - ・保護者が求職活動を行っておらず、保育の必要性が認められない状況にある場合
 - ・他に利用可能な保育所等の情報提供を行ったにも関わらず、特定の保育所等を希望し待機している場合

(なお、「他に利用可能な保育所等」とは、希望の保育所等と開所時間に差異が無い、通常の交通手段で20～30分で登園が可能など)